ある夜のこと、放火事件が起きた。

深夜、建築会社の従業員宿舎から、突然、炎と黒煙が噴き出した。放火したのは、この会社に雇われていた出稼ぎ労働者・矢部次郎。ライターで火をつけ、宿舎の部屋に放火し、そのまま逃走。後で思い直して自首。現住建造物等放火事件の被告人となった。

裁判員の選任手続が始まった。

平成21年初冬、東日本空調システム株式会社の営業マン村瀬智昭のもとに1通の手紙が届く。それは、裁判員候補者名簿に自分の名前が載ったとのお知らせだった。
裁判員候補者になる可能性は低いと思っていた村瀬だが、平成22年3月、村瀬のもとに裁判員選任手続期日の「お知らせ」が送られてくる。
村瀬は、仕事の都合もあり、当初は参加に消極的であったが、徐々に参加してもよいと思うようになっていく。
そして、選任手続当日。選ばれたのは、美容師・大沼恵美、主婦・佐々木郁恵、個人タクシー運転手・山下修、NPO団体職員・青井拓也、元会社役員・小林勇作と村瀬であった…

登場人物

東日本空調システム（株）

小嶋正夫（29）｜北山雅康
村瀬智昭の部下／販売促進部課員

中村直人（28）｜佐々木征史
村瀬智昭の部下／販売促進部課員

村瀬智昭（45）｜村上弘明
会社員／販売促進部課長。会社の中堅的存在。営業の責任者で仕事に厳しく、部下に対しても容赦ない。大きな取引が山場にさしかかったとき、裁判所から「お知らせ」が届く。

村瀬家

村瀬幸子（40）｜床嶋佳子
村瀬の妻

村瀬美樹（18）｜黒川芽以
村瀬の長女／高校3年生

村瀬雅昭（14）｜塩　顕治
村瀬の長男／中学2年生

北川　廉（32）｜草野康太
俳優／俳優としての仕事はまれで、アルバイト店員として生活。たまたま裁判員候補者になったとき、大きな役がつく。

辞退

裁判員

佐々木郁恵（33）｜小林綾子
主婦／2歳の幼児を持つ母。子供を初めて保育所に預けて、あたふたと裁判所に駆けつける。裁判員裁判への参加に積極的。

青井拓也（26）｜泉　政行
NPO団体職員／交通事故にあい車椅子生活を送っている。評議では、その過去の体験をもとに意見を述べる。

大沼恵美（22）｜前田　愛
美容師／高校を中退し、上京。通信教育で美容師の資格を取得した。子供の頃、出稼ぎに出ていた自分の父親と被告人を重ね合わせて考えてしまう。

山下　修（54）｜河原崎建三
個人タクシー運転手／職業上、多くの乗客と接し、人生経験は豊富。被告人と同じように、若い頃、職場をクビになった経験を持つ。

小林勇作（75）｜長門裕之
元会社役員／神経痛の持病を持つものの、裁判員裁判への参加意欲が旺盛。70歳以上で裁判員を辞退できるが積極的に参加したいと主張する。

柳本忠雄（62）｜児玉頼信
建築会社社長／ミスを繰り返す出稼ぎ労働者の矢部を解雇したことで、宿舎に放火され、被害者となってしまう。

夫婦

矢部妙子（42）｜北原佐和子
被告人の妻／夫の裁判に証人として出廷するために上京。執行猶予を涙ながらに訴える。

矢部次郎（47）｜松澤一之
被告人／家族を郷里に残し、建築会社に出稼ぎに来ている。度重なる仕事のミスで解雇され、衝動的に従業員宿舎に放火してしまう。

弁護

兼松大典（63）｜
浜田　晃
弁護人

裁判所

今泉康裕（37）｜
黒木尚典
刑事第2部／
右陪席裁判官

松川美子（53）｜山口果林
刑事第2部／裁判長裁判官。緊張気味の裁判員たちに対して柔らかく接する。

石川芳治（28）｜
笹尾融理亜
刑事第2部／
左陪席裁判官

岡崎久美子（24）｜
菊池麻衣子
刑事訟廷事務室／
裁判所事務官

木田慎一（36）｜
飯田基祐
刑事訟廷事務室／
裁判所書記官

柏木康之（35）｜
池田政典
検察官